

自然や文化を愛する心

美しい花や小動物の生態、四季折々に表情を変える樹木…。自然は私たちにさまざまなドラマを見せてくれます。そして、芸術や童話といった文化も人間に深い感動を与えてくれます。恵まれた環境の中で、そうした自然や文化をすばらしいと感じ、大切に守っていかうとする心が芽生えれば、と願っています。



「自分でやろう!」 という気持ち

自分以外の多くの存在に出会う幼稚園。他人に対する思いやりが芽生えるのも、そうした集団生活から。「年長の者は年少の者をいたわらなければ」という気持ち、「自分にとってイヤなことは他人にとってもイヤだろう」という思いやり。そうした優しい心を、大きく花開かせたいと思います。



責任のもてる子供

与えられた課題をきちんとやりとげたり、あるいは、何かのトラブルの原因が自分にある場合は、「ごめんなさい」と謝ったり、子供には子供なりの責任のもち方があります。私たちは、結果だけを評価するのではなく、さまざまな経過を見守りながら、そうした責任感を育てたいと思っています。



「どうしてかな?」を 自分で考えよう

日常生活の習慣、不思議な自然現象…。子供たちにはいろんな「?」があります。疑問に会ったら、まず「どうしてかな?」と考え、自分なりに思いをめぐらせること。すべての創造性はそこから生まれます。すぐに答えを求めるのではなく、自分自身で考えようとするそうした知的な態度を育てます。



他人に対する 思いやり

「自分のことは自分でする」という習慣はもちろん、集団生活の中には「誰かがやらなければならないこと」もたくさんあります。そんなときに自ら進んで行動する自主性が身につくのもこの頃。「誰かがするだろう」という他力本願ではなく、「僕が」「私が」という積極性が身につくように育成します。